

ホップ♪ ステップ♪ のとがわ

一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会

6/8 (日)

魚のゆりかご水田生き物観察会

■会 場：栗見出在家町

■参加者：260人

■主 催：栗見出在家町魚のゆりかご水田協議会



勉強会



観察会の様子（三日月知事来訪）



6/10 (火)

令和7年度 まちづくり研修会

■会 場：能登川コミュニティセンターホール

■参 加：自治会役員50名・行政関係者11名・まちづくり協議会12名

■講 師：IIHOE（人と組織と地球のための国際研究所）代表者 川北秀人氏

■共 催：能登川地区自治会連合会・（一社）能登川地区まちづくり協議会 賑わい事業部

テーマ：「楽しい自治会ってアリか？」

かなり思い切ったテーマが設定されましたが、講師流に言えば、「負担軽減」と「新しい活動にチャレンジ」ということでした。

「地域の目標（理想）と現状」のギャップを炙り出すアンケート（アセスメント）を実施しましたが、上位4項目を占めたのは、「住民ニーズの把握」・「若者参加」・「SNS活用」・「健康づくり」でした。



能登川コミュニティセンター移転10周年記念イベント

6/17 (火)

第5回 能楽を楽しむ 能装束着付実演と能「田村」

■会 場：能登川コミュニティセンターホール

■来場者：430名

■主 催：滋賀能楽文化を育てる会（会長 出路敏秀）

■協 賛：（一社）能登川地区まちづくり協議会

■協 力：ファブリカ村



6年ぶり5回目の開催。能登川に因んだ能「田村」の公演は、今回も能登川中学校2年生（約230名）が招待され、古典の世界を堪能しました。

舞台背景には東近江の麻布を使用して、地域産業と伝統文化の融合も図られました。

発行日：令和7年8月1日

発 行：一般社団法人 能登川地区まちづくり協議会 広報事業部

〒521-1205 東近江市跡光寺町262番地 能登川コミュニティセンター内

電話 050-5802-2793（平日のみ） FAX：0748-42-1556

E-mail：notomatikyo@e-omi.ne.jp http://notomatikyo.com/

NO. 110

令和7年度 定時総会

5月24日(土)、令和7年度定時総会（能登川コミュニティセンター）を開催しました。

出席者は来賓・会員（個人・団体・自治会・まちづくり委員）の計190名（うち委任状91名）

令和6年度事業報告、決算報告・監査報告、令和7年度事業計画(案)・予算(案)、理事の選任(案)の各議案は全て承認されました。

主な内容は次の通りです。



令和6年度 事業報告（抜粋）

<まちづくり部門>

- 「夏休み能登川こどもの居場所づくり」事業実施（参加児童30名、日数20日間）
- 11月に7回目の「びわ湖ホール声楽アンサンブル」公演で地区の4小学校6年201名を招待。生の音楽に触れる機会を創出。3月には、未就学児や妊婦さんを対象にした「0歳児からのピアノコンサート」を新たに開催。
- 師走恒例の林中央公園での「第21回 2024 Lighting Bell in NOTOGAWA」に共催。
- 子ども食堂や地域団体主催のイベントに後援・支援の他、国スポ・障スポリハーサル大会にふるまい協力を実施。
- 防災関係では、自治会向けに「防災ヒアリング」と「防災力チェックシート」に加え、新たに「行動計画書」の作成支援や「防災出前講座」。5月「能登川地区防災研修会」を開催。
- 新たに、「市内14まち協防災 WEB カフェ」を立上げ全市的なネットワークを構成。
- 環境活動では駅前を花で飾る、能登川中学校・能登川南小学校の「フラ輪プロジェクト」を支援しました。また、「栗見プロジェクト」として、栗見新田町及び栗見出在家町自治会と共に琵琶湖岸の美化と環境保全を行いました。その他、廃食油の回収や、家庭での生ごみ削減を促進する段ボールコンポストの普及に取り組みしました。

- 子育て・子ども食堂への支援、高齢者の居場所づくり「おしゃべりカフェすまいる」「婚活事業」「能登川病院をよくなる会」等の健康福祉事業も継続して取り組みました。

- 猪子山古墳群や里山整備の「猪子山森林再生プロジェクト」も猪子自治会、南小学校、八日市南高等学校の参画で継続実施しました。また「東近江市観光ボランティアガイド協会能登川支部」の活動に協力しました。

- 施設運営面では指定管理施設の有効利用の観点から、各種大会や公演開催の実施及び支援を行いました。

<指定管理部門>

- 能登川コミュニティセンターでの生涯学習（文化・スポーツ）、人権・青少年事業の他、地域の多様な事業及び、各市民活動団体の事務局機能に加え、地域福祉事業にも参画しました。また、やわらぎホール・やわらぎの郷公園の管理運営を行いました。

令和6年度 決 算

単位：千円

項 目	収入	支出	収支差
まちづくり部門	7,316	7,251	65
指定管理部門	75,238	75,056	182
計	82,554	82,307	247

令和7年度 事業計画（概要）

自治会、市民活動団体、行政と連携し、引き続き「安全・安心、健康・医療・福祉の充実、子育てしやすく・子どもが明るく育つ、人が生き生きと働け交流する、歴史文化を守り創造する、自然環境を守り育てる」それが可能となるような活動を進めます。

今年度は、コミュニティセンター移転10周年に当たるため、記念イベントを開催します。

令和7年度 予 算

単位：千円

項 目	収入	支出	収支差
まちづくり部門	6,736	6,736	0
指定管理部門	76,243	76,543	-300
計	82,979	83,279	-300

役 員 の 選 任

役員を選任を行い、総会後の理事会で下記のように決定しました。

理事 (23名)	藤居正博（会長）、今堀 豊・*南部安賢・辻 英幸（以上副会長）、 北崎富三（会計）（東近江市能登川地区老人クラブ連合会会長）、 *前田芳樹、*大和田聡、*樋口 淳、*上林慎治、*野瀬隆之、*小漆間繁雄、 宮川 薫（能登川地区文化協会会長）、若林陽子（能登川赤十字奉仕団委員長）、 里田起明（能登川地区スポーツ協会理事長）、川南義博（のとがわ福祉の会会長）、 村林又藏・三輪幸太郎・居原田善嗣・宮居 伝・山本光代（以上まち協） 櫛田善春（やわらぎの郷公園長）、清水 保（能登川コミュニティセンター・やわらぎホール館長） (注)*は、能登川地区自治会連合会役員（7名）
監事 (2名)	山本清治（前年度能登川地区自治会連合会会長） 谷口哲雄（東近江市能登川支所長）



5/31

青少年育成市民会議能登川支部 能登川地区人権のまちづくり協議会

合同研修会

■会場：能登川コミュニティセンター ホール

■参加者：315人

■主催：青少年育成市民会議能登川支部
能登川地区人権のまちづくり協議会
(事務局：コミセン)

「現実と仮想が混在するインターネット社会の中で生きるということ」をテーマに清水謙二氏（滋賀県警察本部生活安全部少年課少年企画・少年育成係長）をお迎えしました。

講演では、インターネットがなくてはならない社会となった今、全ての情報をうのみにするのではなく、一つ一つを精査して理解をし、自分自身の考えを持つことが大事であることなど、ネット社会との関わり方の難しさをお話いただきました。



第1部 講演会



第2部 能登川中学校吹奏楽部 演奏会

6/21

能登川ふれあいスポーツフェスタ mini 2025

■会場：やわらぎの郷公園（南須田町）

■参加者：約300名

■主催：能登川地区スポーツ協会（共催：コミセン）

■協力：能登川グラウンドゴルフ協会
(一社)能登川地区まちづくり協議会

芝生広場でグラウンドゴルフ大会、多目的広場でモルック大会・体験会を開催しました。梅雨シーズンにもかかわらず好天に恵まれ絶好のコンディションで熱戦が繰り広げられました。

会場には（社福）真寿会の協力による健康相談のコーナーが設けられた他、キッチンカーも出店しました。



グラウンドゴルフ大会



モルック大会



健康相談コーナー

●救急車の適切な利用にご協力ください！

救急車を呼ぶ前に考えよう

9/9は救急の日

救急医療週間 9/7(日)～9/13(土)まで

東近江行政組合消防本部（東近江市・近江八幡市・日野町・竜王町・愛荘町）における令和6年の救急出動件数は12,670件で、そのうちの約半数が入院を必要としない軽症という現状です。

救急要請が集中すると、近隣の救急隊が対応できず、より遠くの救急隊が出動することになります。その結果、現場到着までの時間が長くなり、一刻を争う重篤な患者の命を救うことが難しくなる恐れがあります。

緊急性がなく、ご自身で病院に行ける場合には、自家用車やタクシー、公共交通機関などの利用をお願いします。

救急要請が不適切な例

救急車は無料だから



どの病院に行けばいいかわからない



優先的に診てもらえる



交通手段がない



夜間・休日の診療時間外だった



●救急車を呼ぶか迷ったときは・・・#7119へ

滋賀県では令和7年10月から救急安心センター事業「#7119」が開始！

#7119に電話すると、24時間365日、相談医療チーム（医師、看護師、救急隊経験者等の職員）が症状に基づく緊急性・受診の必要性に関するアドバイス、医療機関案内などを行います。



■問い合わせ先：能登川消防署 TEL 0748-42-0119

のとがわ コミセンだより

令和7年度 第2号
発行月：令和7年8月
発行：能登川コミュニティセンター
【電話】42-3200
【FAX】42-3222
【IP】050-5801-3200

40歳を過ぎたら知っておきたい！ 人生後半戦に備えるマネー&ライフプラン講座

受講生募集
全2回

1回目 老後のマネー編（年金・家計）

9月6日(土) 10:00～11:30

- なぜ人生後半戦戦略が必要か？
- 老後資金の特徴 / 「WPP」って何？
- 公的年金のしくみ / わが家の年金受給額と老後の生活費
- 老後資金をいくら備えればよい？ / 増やすためにできること
- 会計管理：豊かにする3つの視点 / やってはいけないこと

2回目 老後の働き方・ライフ編

9月13日(土) 10:00～11:30

- 人生100年時代の働き方
- 安心して暮らすための「もしも」への備え
健康・介護に対する備え
残された家族が困らないための備え / 遺言書・エンディング
ノートの活用
- いきいきと暮らすためにできること
生きがい設計
人生後半戦を輝かせるために大切なこと、手放すといいこと

■会場：能登川コミュニティセンター

■講師：伊藤 まゆみ 氏（1級ファイナンシャルプランニング技能士 / CFP / キャリアコンサルタント）

■対象：東近江市内在住・在勤の方（能登川地区の方優先）

■定員：20名

■受講料：1,000円（2回分）

■持ち物：筆記用具

申込受付 8月1日(金) 9:00～ 申し込み受付を開始いたします。

能登川コミュニティセンター窓口にて、申込書に必要事項をご記入のうえ、受講料を添えてお申し込みください。（電話不可）

先着順で定員になり次第終了いたします。状況により、講座を延期・中止する場合があります。

参加者募集

出演・出展 無料

第67回 能登川地区文化祭

■会場：能登川コミュニティセンター

■主催：能登川地区文化祭実行委員会
能登川コミュニティセンター

芸能発表の部

- 開催日：11月2日(日) 12:00頃から
発表時間は、お一人（団体）5分程度。
開催日までに打合せ・リハーサルへの参加をお願いします。

作品展示の部

- 開催日：11月1日(土)～2日(日)
日ごろ楽しんで創作されている自慢の作品を飾ってください。
ジャンルは問いません。展示スペースはご相談させていただきます。

菊花展の部

- 開催日：10月27日(月)～11月3日(月・祝)
初心者からベテランの方まで、丹精込めて育てた菊で文化祭を彩ってください。

模擬店の部

- 開催日：11月1日(土)～11月2日(日)
コミュニティセンター駐車場にて模擬店を出店いただける団体を募集しています。

【注意事項】
○能登川地区を拠点とする団体であること
○保健所の基準を満たすものであること
○出店場所・日時など詳細についてはご相談させていただきます。
○文化祭の趣旨と異なる場合は、お断りする場合があります。



申込受付

8月1日(金)～22日(金) 受付時間：9:00～17:00（土日祝可 ※電話不可）

能登川コミュニティセンター窓口にてお申込みください。